

日刊 磐城時報

編輯部 石城郡平町... 印刷部 石城郡平町... 發行部 石城郡平町...

四倉民政黨員の組頭排斥の真相

四倉町消防組員中の民政派に屬する人々は過般戸田組頭が政友派の人々によつて弾劾され組頭を辭職しその後釜に門馬倉次郎氏が就任したので心落ちつかず...

四倉町消防組員中の民政派に屬する人々は過般戸田組頭が政友派の人々によつて弾劾され組頭を辭職しその後釜に門馬倉次郎氏が就任したので心落ちつかず...

石城郡下の麥酒麥成績

石城郡下のビール麥は作柄極め會では二十三日から三日間平均よく漸く收穫をおへ十三日磐城訓官院内で高等蔬菜講習會...

大學生(三)と磐女(三)共濟病院で情死

男の胸の病を悲觀して相抱いて毒を飲む 學生時代からの戀仲

石城郡川部村大字沼部農業補習(三)に自分の病は不治である旨虎之助二男法政大學一年生榎田を告げたので廣治とは戀仲であ...

院小野看護婦長が発見し大騒ぎとなり應急手當を施したが八百子は廣治の手を確く握りつゝ同夜午後十一時死亡した。男は結核で衰弱してゐる上毒藥を飲んだので生命は到底遠くないと言はれてゐる。平署では同夜直ちに兩名の檢視を行ふと共にその...

泊り込んで盗む 圖々しい坑夫捕はる

石城郡内郷村大字高坂磐城炭礦のを見すまじトランクの中から後山夫栗原金太郎(二〇)は十四前記十圓紙幣を盗み取つて逃走した處を同日午後平署原刑事に捕はれ目下取調中である。

「お許しをうけぬ戀に浸つてゐた事を御勘辨下さい」 枕元から遺書を發見

不治の病を悲觀して情死を計つた男榎田廣治は平町磐城中學校卒業後東京法政大學法律科に入り目下一年生で、女芳賀八百子は昨年平町磐城高等女學校を卒業した評判の美人で、兩名は川部村から列車で通學する頃互に戀を語つてゐた仲で卒業後に於ける兩名の戀は更に益々濃厚となり將來の契りを結んでゐた仲であつた。因に病床布圍の下には兩名で撮影した寫真數葉並に男が兩親に宛てた「認めた」「どうせ助からぬ命です、只一人の八百子さんと死んで行く事をお許し下さい」といふ遺書と女が實母に宛てた「お許しをうけぬ戀に浸つてゐた事を御勘辨下さい。未來を契つた廣治さんらに死んでゆきます」といふ意味の遺書があつた。

後悔先にたらず

湯本町の井戸水や温泉水が湧き出たのは今始まつたことではない、今から約二十年前入山炭礦が採炭を開始した間もなく湯本町地下が掘割かれ地下水路が悉く遮断され井戸水は上らず温泉水は湧出を断たれ、町が淋れると町當局を始め全町あげての叫びとなつたのであつた。

石城郡湯本町が湧水し殆んど一滴の飲料水にも恵まれなないといふ今日の惨狀に至るまでこのあらしを記せば...

邊渡治(二九)は去る八日午後七時頃同字居住矢内ナツ(四三)方の下水に灰を捨てたので矢内から抗議を申し込まれたのが動機で口論となり渡邊は矢内の頭部に十五日平署に告訴された。

安藤氏講演 福岡縣社會事業廳安藤悦一氏は十六日午前八時から平署署樓上で署員一同に對し講演を試みた。

尼子自動車 子供を轢く 三ヶ月の重傷

平町二丁目尼子自動車部平、湯本間乗合自動車を運轉手鈴木真治(二六)が操縦し湯本町を進行中同町天王崎己之助五女本滿(ツ子)八ツを轢き倒し全治三週間の重傷を負はせたので平署で取調中である。

女を殴る

灰を捨てた事から安積郡種積村生れ當時内郷村大間の重傷を負はせたので平署で取調中である。

湯本町が其頃の時代に於て先見の明あり、水道の施設でもしてゐたならこんなにならなかつたのだが、同町は由來町内有志間に統一するところの難なくこの十數萬圓の寶の金を銀行預金にして置き其の銀行が財界變動の犠牲となつた結果預金の内約十萬圓はつひに排斥不能となり入山炭礦の寄附金はファイになつて仕舞つたのである。

町會では今回水道委員十五名(町議十八名中)を新設して上水道の實現を計るに至つたが既におとし、唯一の水源である好間川の水利権は入山炭礦の獲得するところとなつてゐる、然して此の炎天下に於て山から流れる僅かの水を數十名の町民が血眼になつて奪ひ合ひをして居る現狀なのである...

生産制限 四倉町磐城セメント會社では全

平、原町、郡山 汽車時間表

九月十五日から實施される、改正
汽車時間表のうち平、原町、郡
山間左の如し。

線路	平	原町
▲常磐線下り	午前二時五〇 三時二〇 三時五〇 四時二〇 四時五〇 五時二〇 五時五〇 六時二〇 六時五〇 七時二〇 七時五〇 八時二〇 八時五〇 九時二〇 九時五〇	午前五時三〇 五時五〇 六時一〇 六時三〇 六時五〇 七時一〇 七時三〇 七時五〇 八時一〇 八時三〇 八時五〇 九時一〇 九時三〇 九時五〇
▲常磐線上り	午後一時五八 二時二八 二時五八 三時二八 三時五八 四時二八 四時五八 五時二八 五時五八 六時二八 六時五八 七時二八 七時五八 八時二八 八時五八 九時二八 九時五八	午後四時二〇 四時四〇 四時五〇 五時一〇 五時三〇 五時五〇 六時一〇 六時三〇 六時五〇 七時一〇 七時三〇 七時五〇 八時一〇 八時三〇 八時五〇 九時一〇 九時三〇
▲磐越東線下り	午前八時〇五分 八時三〇 八時五五分 九時二〇 九時四五分 十時一〇 十時三五分 十時六〇 十時八五分 十一時一〇 十一時三五分 十一時六〇 十一時八五分 十二時一〇 十二時三五分 十二時六〇 十二時八五分	午前七時〇六 七時三二 七時五八 八時二四 八時五〇 九時一六 九時四二 十時〇八 十時三四 十時六〇 十時八六 十一時一二 十一時三八 十一時六四 十一時九〇 十二時一六 十二時四二
▲磐越東線上り	午前八時〇五分 八時三〇 八時五五分 九時二〇 九時四五分 十時一〇 十時三五分 十時六〇 十時八五分 十一時一〇 十一時三五分 十一時六〇 十一時八五分 十二時一〇 十二時三五分 十二時六〇 十二時八五分	午前七時〇六 七時三二 七時五八 八時二四 八時五〇 九時一六 九時四二 十時〇八 十時三四 十時六〇 十時八六 十一時一二 十一時三八 十一時六四 十一時九〇 十二時一六 十二時四二

察署では十八日午後一時から同
署演武場に於て剣道夏稽古納會
を催す等て一般外來者の參會
を歓迎する。

酷暑一蹴の大映畫
舊盆大興行
特作時代劇大會
新十六日 舊十一日 替
マキノ超特作 指揮マキノ
省三 監督中島實三 カメ
ラ野村金吾
(徳川光圀)市川幡谷(佐々
木助三郎)小川井藤(瀧見
格之丞)河津清三郎主演
東海 水戸黄門 十五
道篇 谷崎十郎、南光明、嵐徳太
郎、櫻木梅子、桂武男、根
岸東一郎、松浦築枝、岡島
艶子、市川新藏、阪東三右
衛門、河上君江、助演
東亞特作 原作内田徳司
新 牡丹燈籠
浅野昇子、春日八郎主演
月岡正美、市川花江助演
帝キネ市川百々之助主演
俠 花吹雪新八
片桐恒夫、若柳みどり助演
十二日より舊十六日
までヒルアリマス
普通 有聲座 電四
料金

大内提燈
岐阜提燈
變型提燈
算盤の桁を外して廉賣致します。どうぞお立寄の程を
平町一丁目(日進堂隣)
電話(呼)三三三六番

亡母ツル新盆に相當居候處
時節柄提燈その他の供物は
一切御辞退申上ぐる事に致
し候間御諒承被下度候
平町紺屋町
佐藤作平

亡母儀新盆に相當候へども
時節柄提燈その他供物の御
贈與一切御辞退申上度此段
以紙上御諒解願上候
平町一丁目
飯田近治

謹啓
永興院淨圓蝶華清大姉新盆に
相當り候處時節柄提燈其の他
供物一切御辞退仕り度候間此段
御諒承之程願上候
昭和四年八月九日
永山和平

更なる新更の意氣満天下を壓する我等の快男の子が面目

香掛時次郎

名篇 舊十三日替 十三日より五日間晝夜二回公開

松竹作品 林長二郎主演 映畫の白眉

千早晶子・關 操・助演
◆淺ましき人の世の姿を描いて盡す……湧き
出る痛ましき哀調の剣と戀の繪巻……遊
説 明 林 樂 遊

帝劇ソプラノ名花
香掛美奈子嬢
獨唱。香掛小唄・紅屋の娘
◆日活作品 各社映畫冠遂に大日活の手に
◆親に對し私し遠がごんなに孝行しても親達
が私し達に與へてくれた聖愛から見る時
あまりにも小さいものではある……

原 作 長 谷 川 伸 先 生 ◆ 監 督 辻 越 吉 郎
助 演 者 酒 井 米 子 葛 木 香 一 ◆ 上 尾 桃 華
原 助 演 者 井 米 子 葛 木 香 一 ◆ 上 尾 桃 華
原 助 演 者 井 米 子 葛 木 香 一 ◆ 上 尾 桃 華

入場料 二席大 四〇〇・小 一〇〇 日活松竹
一席大 五〇〇・小 二〇〇
特等席 大 六〇〇・小 三〇〇
平 電 四 六 六

父乙三郎儀新盆に相當り候へ
共時節柄提燈其他一切の供物
御辭退仕度候條何卒不惡御諒
承被成下度以紙上申上候也
平町搔籠小路
阿部政右衛門

平町南町 大和田醫院
電話一七〇番

毒梅 腸胃 専門 皮膚病 婦人病 淋病 梅毒 十二指 腸胃病 胃性病 腸胃病 腸胃病 腸胃病

毒梅 腸胃 専門 皮膚病 婦人病 淋病 梅毒 十二指 腸胃病 胃性病 腸胃病 腸胃病 腸胃病